



# 週刊ゴールド

金の投資判断に必要な情報がここに凝縮されています。  
毎週月曜日夕方発行



NYは金曜日と月曜日は休場

発行日 : 2014/4/21



先週金曜日は、Good Friday、20日月曜日はEaster Mondayで米国市場は休場。

**TOPICS 南アのプラチナ鉱山 Anglo Platinum社は労組のAMCUに対して賃金の提案を提出。火曜日までに回答を促している。**

4月17日付でアングロアメリカンプラチナム社はAssociation of Mineworkers and Construction Union (AMCU) 宛に書簡による回答を提出した。

内容は、「2017年7月までに地底労働者に対して、月額1万2500ランド（年額15万ランド：約146万円）の現金報酬を約束する。これにより、7.5～10%の賃上げとなる。また、手当についてはインフレに沿って引き上げる。会社側にとっては、医療費や残業手当、ボーナス等も含めれば、地底労働者一人当たり年間21万ランド（約200万円）の負担となり、労働コストは年間生産コストの55～60%に及び。賃金増額分は昨年の7月1日にさかのぼって支払われるが、ストライキの期間の賃金は支払われない。現在までに同社は12週間のストライキによって22万5373オンス（約7トン）の生産が失われ、580億ランド（5,658億円）の収入が無くなった。来週火曜日までに十分検討して回答願いたい。」というもの。

いよいよストライキは大詰めに入ってきた。

サイトアドレス：http://www.platinumwageneegotiations.co.za/  
 サイトへの行き方： Anglo Platinumあるいは、Impala社のホームページに張ってある左下のPlatinum Wage Negotiation 2014を開くと



TOPICS プラチナの需給 by Jhonsen Matthey Platinum 2013

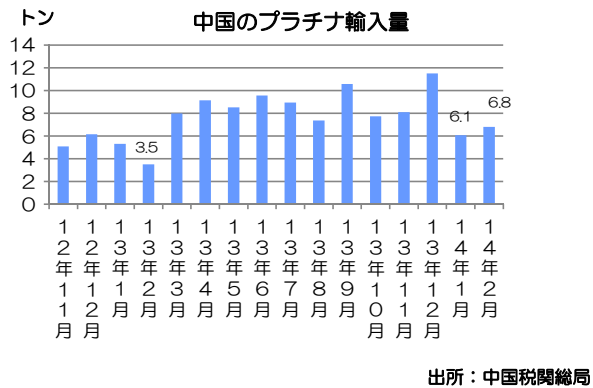
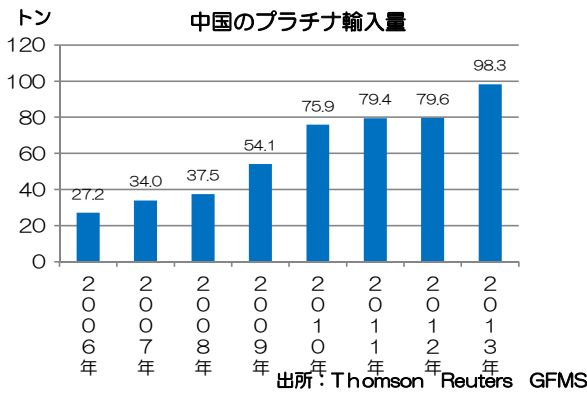
<トン建て>	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年
南アフリカ	127.5	138.4	144.0	155.8	159.1	164.7	157.7	140.4	144.2	144.2	151.2	127.2	128.1
ロシア	40.4	30.5	32.7	26.3	27.7	28.6	28.5	25.1	24.4	25.7	26.0	24.9	24.3
北アメリカ	11.2	12.1	9.2	12.0	11.3	10.7	10.1	10.1	8.1	6.2	10.9	9.6	9.8
ジンバブエ	-	-	-	-	4.8	5.1	5.3	5.6	7.2	8.7	10.6	10.6	12.4
その他	3.1	4.7	7.0	7.8	3.6	3.3	3.7	3.6	3.6	3.4	3.1	3.4	3.9
供給合計	182.3	185.7	192.8	201.9	206.5	212.4	205.3	184.8	187.4	188.2	201.7	175.7	178.5

<トン建て>	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年
自動車触媒	78.4	80.6	101.7	108.6	118.1	121.5	128.9	113.7	68.0	95.6	99.1	99.2	97.2
化学	9.0	10.1	10.0	10.1	10.1	12.3	13.1	12.4	9.0	13.7	14.6	14.0	16.8
電気	12.0	9.8	8.1	9.3	11.2	11.2	7.9	7.1	5.9	7.2	7.2	5.1	6.4
ガラス製造	9.0	7.3	6.5	9.0	11.2	12.6	14.6	9.8	0.3	12.0	16.0	5.0	7.3
投資	2.8	2.5	0.5	1.4	0.5	▲1.2	5.3	17.3	20.5	20.4	14.3	14.2	23.8
宝飾品	80.6	87.7	78.1	67.2	76.6	68.2	65.6	64.1	87.4	75.3	77.0	86.5	85.2
医療バイオ	-	-	-	-	7.7	7.8	7.2	7.6	7.8	7.2	7.2	7.3	7.3
石油精製設備	4.0	4.0	3.7	4.7	5.4	5.6	6.5	7.5	6.5	5.3	6.5	6.4	4.8
その他	14.5	16.8	14.6	14.6	7.0	7.4	8.2	9.0	5.9	9.3	10.0	12.1	13.1
需要合計	210.3	218.8	196.7	198.1	247.8	245.4	257.3	248.5	211.3	245.9	251.8	249.8	261.9

<トン建て>	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年
供給合計	182.3	185.7	192.8	201.9	206.5	212.4	205.3	184.8	187.4	188.2	201.7	175.7	178.5
需要合計	210.3	218.8	196.7	198.1	247.8	245.4	257.3	248.5	211.3	245.9	251.8	249.8	261.9
自動車触媒	▲16.5	▲17.6	▲20.1	▲21.5	▲24.0	▲26.8	▲29.1	▲35.1	▲25.8	▲33.7	▲38.6	▲35.1	▲39.7
電気	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	▲0.2	▲0.3	▲0.3	▲0.3	▲0.3	▲0.8
宝飾品	0.0	0.0	0.0	0.0	▲15.5	▲17.2	▲20.4	▲21.6	▲17.6	▲22.9	▲25.2	▲27.7	▲24.1
リサイクル合計	▲16.5	▲17.6	▲20.1	▲21.5	▲39.5	▲44.0	▲49.5	▲56.9	▲43.7	▲56.9	▲64.1	▲63.1	▲64.5
ネット需要	193.8	201.2	203.1	203.4	208.3	201.4	207.8	191.6	167.6	189.0	187.7	186.3	197.4
在庫変動	▲11.5	▲15.6	▲10.3	▲1.6	▲1.8	11.0	▲2.5	▲6.8	19.8	▲0.8	14.0	▲10.6	▲18.8

プラチナの生産量は、年間178トン、その内南アの生産量は72%の128トン。需要は261トンで、自動車触媒が97トン約37%、宝飾品が85トン約33%を占めた。スクラップの供給が64トンあるので、需要から差し引くとネットの需要は197トンとなり、需給は▲18.8トンの供給不足。前年も▲10.6トンの供給不足だった。2014年は11月から1月まで続いたNortham Platinum社のストライキで約▲1トン、1月20日～現在まで91日間続いているストライキで約27トンの減産となると思われる、需給は、昨年の需要が同じだとしても、計算上は▲28トン～▲46トンの供給不足となる。なお、Anglo Platinum社は書簡で▲7トンの減産と述べているので、減産量は上記計算より、少ないかもしれない。

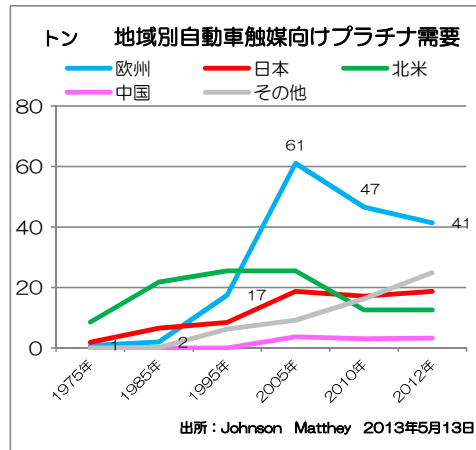
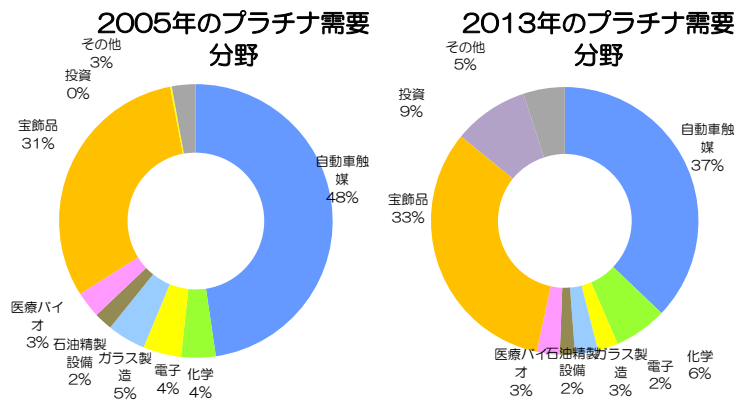
## TOPICs 中国のラチナの需給



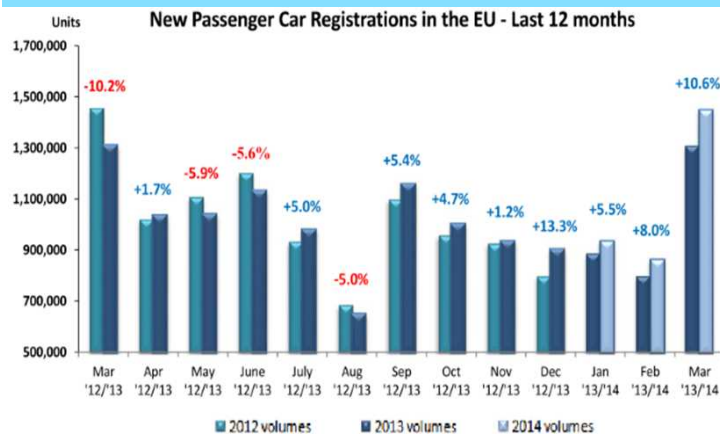
中国は2013年98.3トンのプラチナを輸入しており、前年の79.6トンより、+18.7トン、+21%増であった。2月は中国は6.8トン輸入しており、前年同月の3.5トンより+3.3トン、+83%増となっている。今年も中国が前年より20トン近く需要が増加するならば、上記の需給は需要サイドの伸びにより更に20トン以上の不足となる。

## TOPICs 世界的な自動車需要の回復

2013年プラチナ需要の内自動車触媒需要は37%であったが、これはディーゼル車の多い欧州や米国、日本等の自動車販売が伸び悩んでいたためであり、それ以前の自動車触媒需要のプラチナ需要の割合は、半分近くあった。



## 欧州の乗用車新車登録台数は7カ月連続の増加 by ACEA



欧州自動車工業会 (ACEA) によれば、3月の欧州の乗用車新車登録台数は、前年同月比+10.6%増と7カ月連続の増加となった。ただ、登録台数の1,449,148台は、2003年ACEAが記録を始めてから3月の登録台数としては、2番目に少ない数字である。2014年第1四半期の登録台数は、前年同期比+8.4%増の3,246,719台。

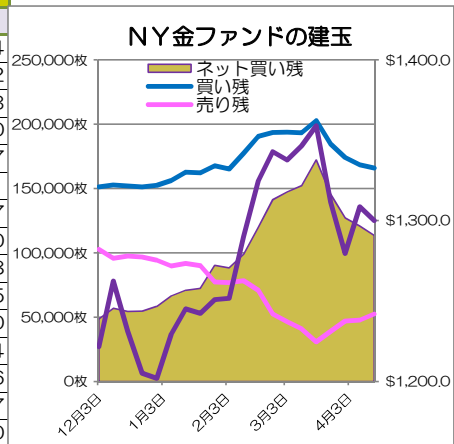
主要国は軒並み増加となった。英国+17.7%、スペイン+10.0%と二桁増になり、フランス+8.5%、ドイツ+5.4%、イタリア+5.0%。

第1四半期の内訳は、英国+13.7%、スペイン+13.7%、イタリア+11.8%、ドイツ+5.8%、フランス+5.6%であった。

TOPICS ファンドの建玉

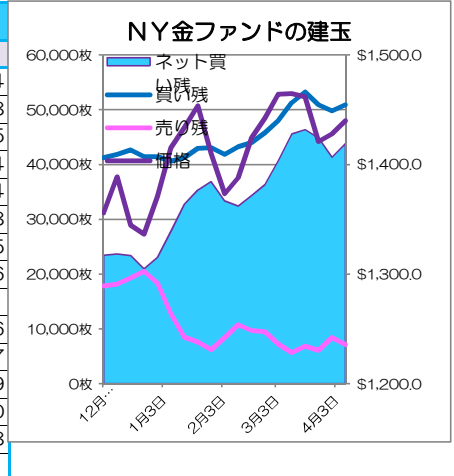
NY金のファンドの建玉

までの週	取組高	買い残	売り残	ネット買い残	増減	価格
1月7日	630,115枚	156,270枚	89,792枚	66,478枚	+8,162枚	\$1,229.4
1月14日	664,721枚	162,705枚	91,741枚	70,964枚	+4,486枚	\$1,245.2
1月21日	663,764枚	162,253枚	89,976枚	72,277枚	+1,313枚	\$1,242.3
1月28日	608,056枚	167,696枚	77,419枚	90,277枚	+18,000枚	\$1,251.0
2月4日	602,247枚	165,286枚	76,912枚	88,374枚	▲1,903枚	\$1,251.7
2月11日	617,237枚	177,365枚	78,375枚	98,990枚	+10,616枚	\$1,290.1
2月18日	657,075枚	190,511枚	70,826枚	119,685枚	+20,695枚	\$1,324.7
2月25日	637,838枚	193,673枚	52,359枚	141,314枚	+21,629枚	\$1,343.0
3月4日	656,664枚	193,754枚	46,415枚	147,339枚	+6,025枚	\$1,337.8
3月11日	684,249枚	193,209枚	40,942枚	152,267枚	+4,928枚	\$1,346.5
3月18日	711,980枚	202,885枚	30,681枚	172,204枚	+19,937枚	\$1,359.0
3月25日	675,535枚	184,632枚	39,101枚	145,531枚	▲26,673枚	\$1,311.4
4月1日	607,938枚	174,189枚	47,068枚	127,121枚	▲18,410枚	\$1,279.6
4月8日	614,585枚	168,495枚	47,610枚	120,885枚	▲6,236枚	\$1,308.7
4月15日	628,029枚	165,879枚	52,321枚	113,558枚	▲7,327枚	\$1,300.0



NYプラチナのファンドの建玉

までの週	取組高	買い残	売り残	ネット買い残	増減	価格
1月7日	63,132枚	40,598枚	12,768枚	27,830枚	+6,879枚	\$1,415.4
1月14日	62,918枚	41,236枚	8,473枚	32,763枚	+4,933枚	\$1,433.8
1月21日	63,909枚	42,927枚	7,585枚	35,342枚	+2,579枚	\$1,453.5
1月28日	64,765枚	43,080枚	6,193枚	36,887枚	+1,545枚	\$1,409.4
2月4日	65,378枚	41,821枚	8,439枚	33,382枚	▲3,505枚	\$1,373.4
2月11日	67,112枚	43,230枚	10,794枚	32,436枚	▲946枚	\$1,387.8
2月18日	67,532枚	43,998枚	9,688枚	34,310枚	+1,874枚	\$1,424.5
2月25日	68,681枚	45,794枚	9,458枚	36,336枚	+2,026枚	\$1,442.6
3月4日	70,925枚	47,976枚	7,280枚	40,696枚	+4,360枚	\$1,464.1
3月11日	75,844枚	51,257枚	5,693枚	45,564枚	+4,868枚	\$1,464.6
3月18日	76,963枚	53,227枚	6,850枚	46,377枚	+813枚	\$1,461.7
3月25日	73,059枚	50,912枚	6,075枚	44,837枚	▲1,540枚	\$1,420.9
4月1日	70,354枚	49,774枚	8,444枚	41,330枚	▲3,507枚	\$1,428.0
4月8日	70,570枚	50,913枚	7,121枚	43,792枚	+2,462枚	\$1,439.8
4月15日	70,943枚	51,533枚	6,568枚	44,967枚	+1,175枚	\$1,444.1



今後の予想

南アのプラチナ鉱山のストライキが山場を迎えている。労働者側の疲弊も激しいと思われるため、アングロプラチナ社の2017年までの延べ払い賃金引上げ案が明日火曜日までに受け入れられる可能性がある。プラチナ価格はこうしたファンダメンタルを映した動きではないが、論理的には価格が下落してもおかしくない。ただ、プラチナの需給はますますタイトになるばかりであり、たとえストライキが終わったとしても潤沢な供給は見込めない。ほとんど枯渇した世界の在庫は、需要超過のために積み回れないまま推移し、今後生産と需要が見合うまでどちらかが調整する必要がある。需要側で調整できなければ、生産社の増産は難しいので、価格は上昇するしかない。

掲載される情報は株式会社コモディティー インテリジェンス（以下「COMMi」という）が信頼できると判断した情報源をもとにCOMMiが作成・表示したものです。その内容及び情報の正確性、完全性、適時性について、COMMiは保証を行っておらず、また、いかなる責任を持つものでもありません。

本資料に記載された内容は、資料作成時点において作成されたものであり、予告なく変更する場合があります。

本文およびデータ等の著作権を含む知的財産権はCOMMiに帰属し、事前にCOMMiへの書面による承諾を得ることなく本資料およびその複製物に修正・加工することは堅く禁じられています。また、本資料およびその複製物を送信、複製および配布・譲渡することは堅く禁じられています。

COMMiが提供する投資情報は、あくまで情報提供を目的としたものであり、投資その他の行動を勧誘するものではありません。

本資料に掲載される株式、債券、為替および商品等金融商品は、企業の活動内容、経済政策や世界情勢などの影響により、その価値を増大または減少することもあり、価値を失う場合があります。

本資料は、投資された資金がその価値を維持または増大を補償するものではなく、本資料に基づいて投資を行った結果、お客様に何らかの障害が発生した場合でも、COMMiは、理由のいかんを問わず、責任を負いません。